情報公開文書

S25-31

研究課題名	当院ドックにおける非肥満者の非アルコール性脂肪性肝疾患(NAFLD)の
	罹患率とリスク因子
研究対象期間	西暦 2011年 4月 1日 ~ 西暦 2012年 3月 31日
研究の目的と意義	本邦および東アジアにおいて非肥満者(BMI < 25)の NAFLD は一定存在
	しますが(1,2)、その危険因子とくに生活習慣についての詳細な報告(3) は少数です。また肥満者の NAFLD の治療の第一選択は減量ですが、非
	肥満者 NAFLD の治療は確立されていません。その治療に役立てる目的
	で、肥満と非肥満の NAFLD の危険因子の違いを比較検討しました。
研究方法	対象:2011年4月から2012年3月まで1年間のドック受診者5433名中、
	不適格例と日本酒換算 1 合/日以上の飲酒例を除いた 3271 例。方法:脂
	防肝は腹部超音波検査所見から消化器専門医が診断、BMI≥25を肥満、
	BMI < 25 を非肥満と定義した。ドック基本項目である血液生化学検査値、特定健診の血糖・脂質・血圧リスク評価、厚労省指定の特定健診質問票の
	生活習慣 12 項目、服薬歴、既往歴等を検討因子として、男女別に生活習
	12 項目のみと全因子について 2 通りの解析を行い、NAFLD の危険因
	子を同定しました。また、当ドックにおける非肥満 NAFLD の罹患率も
	検討しました。
個人情報の保護、	利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人
研究参加の拒否について	情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、
	その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
	また、本研究への参加拒否を希望される患者さんについては、担当医師に
	お申し出ください。
結果の公表	この研究の結果は、研究に関連する学会や学術雑誌等で発表されることが
	ありますが、その際も対象となった個々の症例の報告はなされず、集計さ
	れたデータをもとに得られた結果のみを公開し、個人情報は守られます。
問合せ先	【研究責任者】
	京都第二赤十字病院 健診部
	副部長 西大路 賢一
	〒602-8026 京都市上京区釜座通丸太町上ル春帯町 355-5
	TEL: 075-231-5171 (代) FAX: 075-256-3451 (代)